

## 2 主要業種の動向

(基準年の生産ウェイト上位8業種の動向(全19業種のウェイト計10,000))

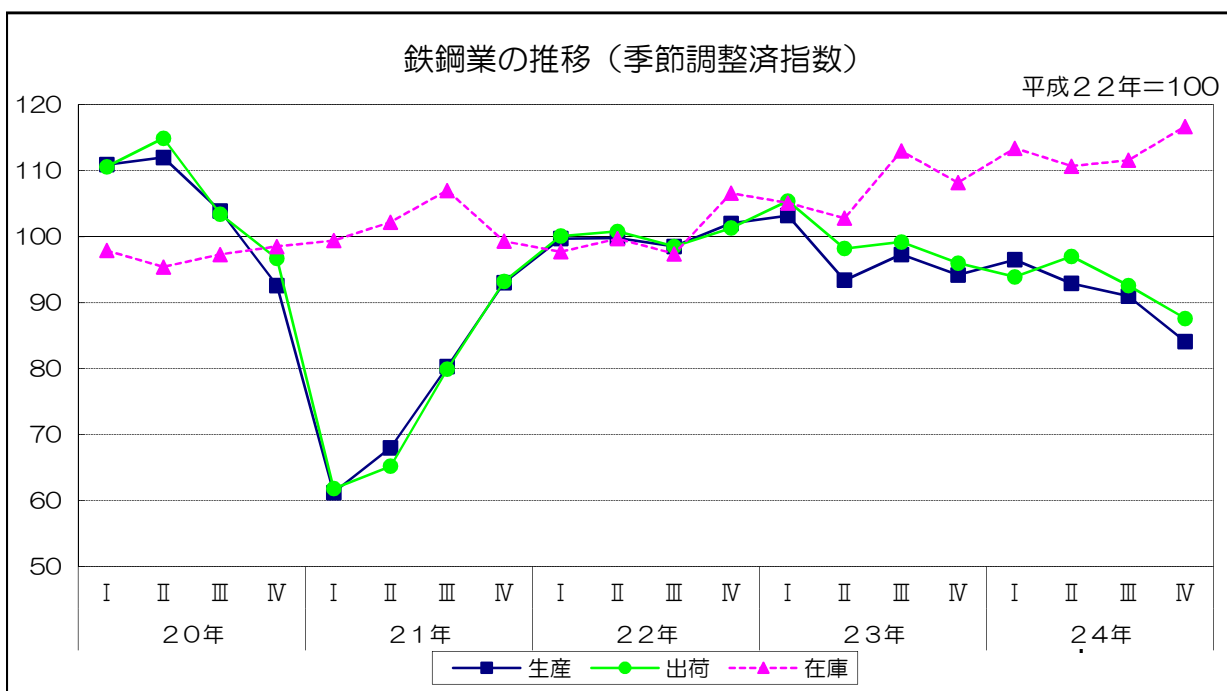
### (1) 鉄鋼業

- ① 生産(付加価値額ウェイト770.9 生産19業種中4位)  
24年の生産は91.0で、前年比▲6.0%減と2年連続の低下となった。  
これは、特殊鋼冷間仕上鋼材、ブリキなどは上昇したが、  
亜鉛めっき鋼板、冷延電気鋼帯などが低下したことによる。
- ② 出荷(出荷額ウェイト1093.4 出荷19業種中3位)  
24年の出荷は93.2で、同▲6.2%減と2年連続の低下となった。  
これは、H形鋼、特殊鋼冷間仕上鋼材などは上昇したが、  
冷延電気鋼帯、軌条・外輪などが低下したことによる。
- ③ 在庫(在庫額ウェイト1948.0 在庫19業種中1位)  
24年の在庫は119.8で、7.9%増と5年連続の増加となった。  
これは、特殊鋼熱間圧延鋼材、銑鉄などは低下したが、  
鋼半製品、軌条・外輪などが上昇したことによる。

鉄鋼業の推移(年は原指数、四半期は季節調整済指数)

平成22年=100

	20年	21年	22年	23年	24年	24年			
						I	II	III	IV
生産	105.0	76.0	100.0	96.8	91.0	96.5	92.9	91.0	84.1
前期(年)比	▲4.8	▲27.6	31.6	▲3.2	▲6.0	2.4	▲3.7	▲2.0	▲7.6
前年同期比	—	—	—	—	—	▲5.0	▲0.8	▲7.3	▲11.1
出荷	106.7	75.0	100.0	99.4	93.2	93.9	97.0	92.6	87.6
前期(年)比	▲7.6	▲29.7	33.3	▲0.6	▲6.2	▲2.2	3.3	▲4.5	▲5.4
前年同期比	—	—	—	—	—	▲8.4	▲0.5	▲6.6	▲8.7
在庫	100.4	101.4	109.0	111.0	119.8	113.4	110.7	111.6	116.7
前期(年)比	4.0	1.0	7.5	1.8	7.9	4.8	▲2.4	0.8	4.6
前年同期比	—	—	—	—	—	8.1	7.4	▲1.3	7.9



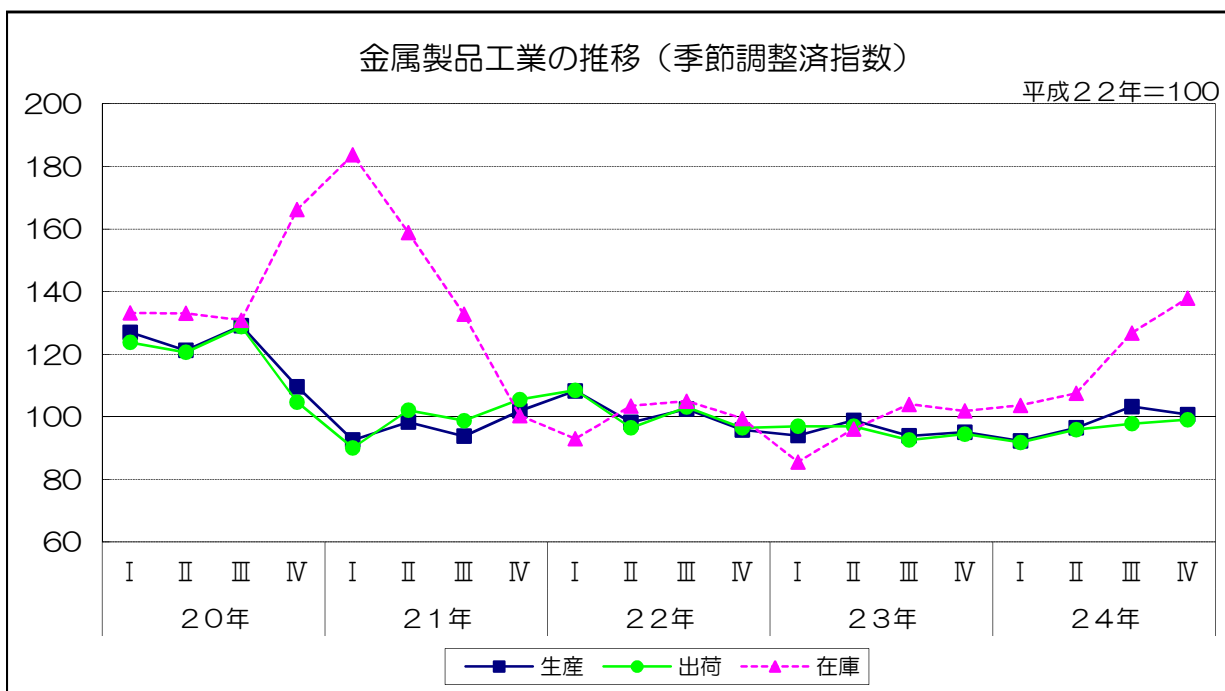
## (2) 金属製品工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト588.7 生産19業種中6位）  
24年の生産は100.4で、前年比5.7%増と2年ぶりの上昇となった。  
これは、架線金物、ドラム缶などは低下したが、  
橋りょう、鉄塔などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト459.1 出荷19業種中6位）  
24年の出荷は98.2で、同3.5%増と2年ぶりの上昇となった。  
これは、飲料用缶、食缶などは低下したが、  
橋りょう、鉄骨などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1073.3 在庫19業種中4位）  
24年の在庫は125.8で、同35.9%増と2年連続の上昇となった。  
これは、スチール又はステンレスシャッター、金網は低下したが、  
飲料用缶、ガス湯沸器などが上昇したことによる。

金属製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	20年	21年	22年	23年	24年	季節調整済指数			
						I	II	III	IV
生産	122.8	95.1	100.0	95.0	100.4	92.3	96.5	103.3	100.7
前期(年)比	16.9	▲22.6	5.2	▲5.0	5.7	▲2.9	4.6	7.0	▲2.5
前年同期比	-	-	-	-	-	1.0	▲0.1	12.6	9.1
出荷	120.5	97.8	100.0	94.9	98.2	91.8	95.9	97.8	99.1
前期(年)比	8.6	▲18.8	2.2	▲5.1	3.5	▲2.9	4.5	2.0	1.3
前年同期比	-	-	-	-	-	▲1.4	0.7	7.3	7.5
在庫	148.4	90.1	89.7	92.6	125.8	103.7	107.5	126.8	137.9
前期(年)比	73.2	▲39.3	▲0.4	3.2	35.9	1.8	3.7	18.0	8.8
前年同期比	-	-	-	-	-	19.5	10.5	23.6	35.9



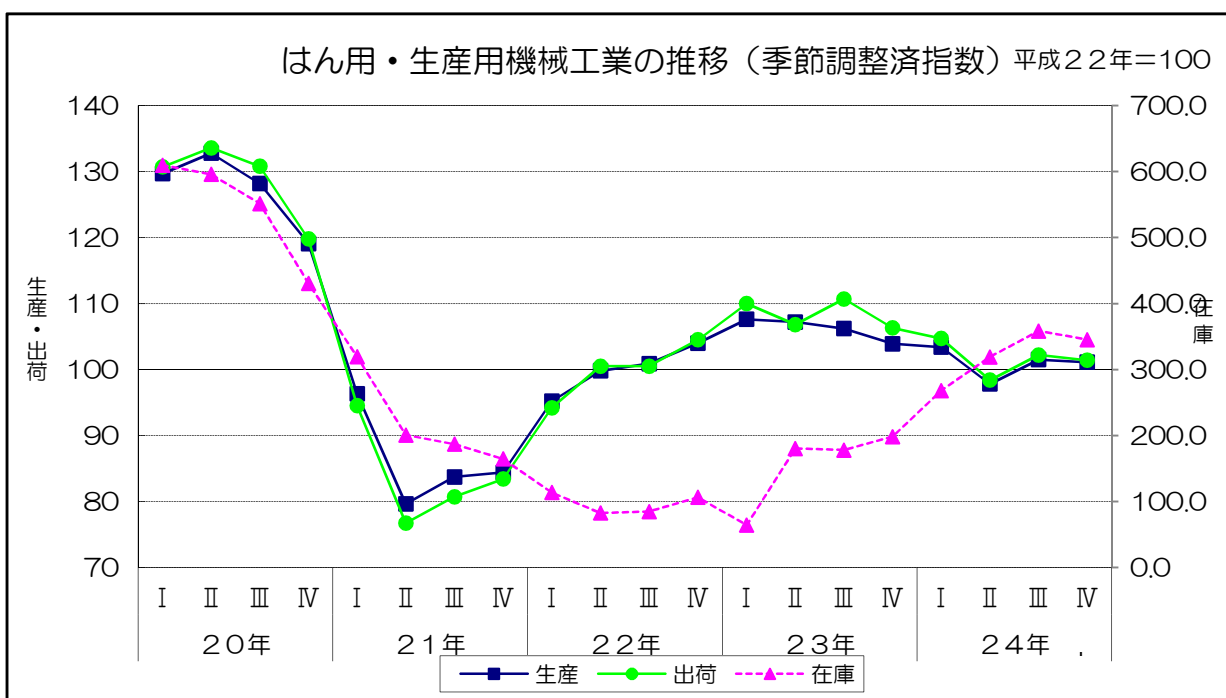
### (3) はん用・生産用機械工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト776.0 生産19業種中3位）  
24年の生産は100.7で、前年比5.1%減と3年ぶりの低下となった。  
これは、ショベル系掘削機、貯蔵槽などは上昇したが、  
バルブ・コックや半導体製造装置などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト670.8 出荷19業種中4位）  
24年の出荷は101.5で、同6.4%減と3年ぶりの低下となった。  
これは、ショベル系掘削機、貯蔵槽などは上昇したが、  
バルブ・コックや産業用ロボット部品・付帯装置などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト667.7 在庫19業種中6位）  
24年の在庫は330.6で、同71.1%増と2年連続の上昇となった。  
これは、ショベル系掘削機、ポンプなどが上昇したことによる。

はん用・生産用機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	20年	21年	22年	23年	24年	24年			
						I	II	III	IV
生産	127.8	86.5	100.0	106.1	100.7	103.4	97.8	101.5	101.1
前期（年）比	12.4	▲32.3	15.6	6.1	▲5.1	▲0.5	▲5.4	3.8	▲0.4
前年同期比	-	-	-	-	-	▲4.3	▲8.9	▲4.6	▲2.6
出荷	129.0	84.3	100.0	108.4	101.5	104.7	98.4	102.2	101.4
前期（年）比	8.8	▲34.7	18.6	8.4	▲6.4	▲1.5	▲6.0	3.9	▲0.8
前年同期比	-	-	-	-	-	▲5.6	▲7.8	▲7.8	▲4.4
在庫	434.7	165.8	105.8	193.2	330.6	268.2	319.2	358.3	345.2
前期（年）比	▲23.5	▲61.9	▲36.2	82.6	71.1	35.3	19.0	12.2	▲3.7
前年同期比	-	-	-	-	-	305.9	80.5	101.6	71.1



(4) 電子部品・デバイス工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト345.0 生産19業種中8位）  
24年の生産は84.4で、前年比19.4%増と2年ぶりの上昇となった。  
これは、混成集積回路、線形回路などは低下したが、  
トランジスタ、固定コンデンサなどが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト379.4 出荷19業種中8位）  
24年の出荷は101.1で、同2.8%増と2年ぶりの上昇となった。  
これは、混成集積回路、整流素子などは低下したが、  
トランジスタ、計数回路などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト118.5 在庫19業種中16位）  
24年の在庫は139.9で、同9.7%減と2年ぶりの低下となった。  
これは、トランジスタは上昇したが、  
線形回路、整流素子が低下したことによる。

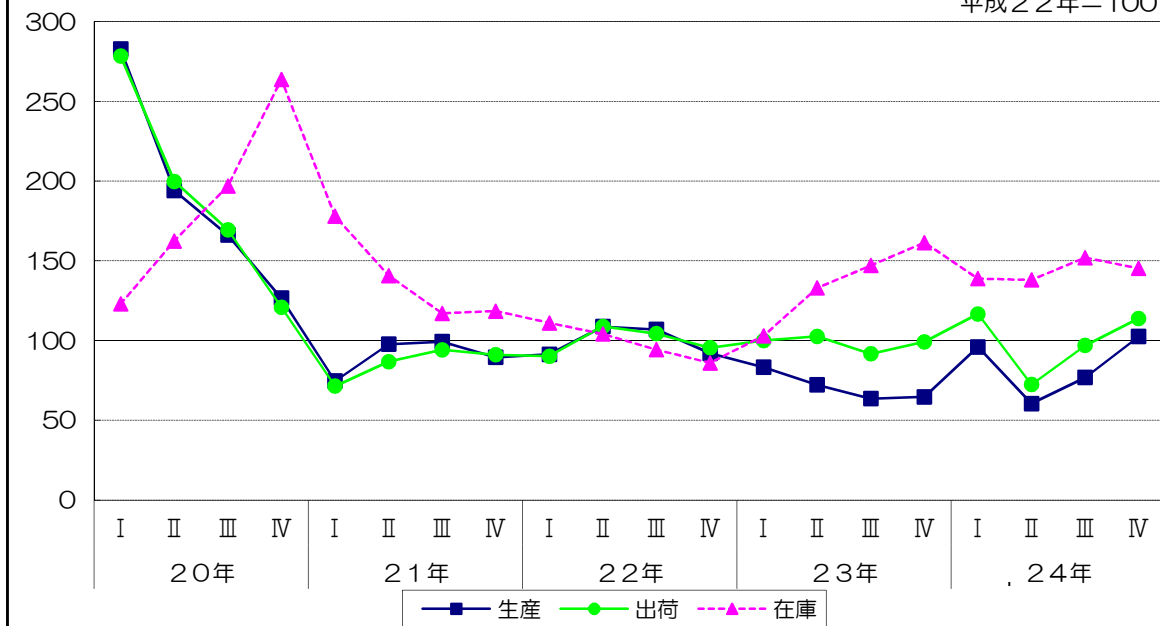
電子・デバイス工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	20年	21年	22年	23年	24年	平成22年=100			
						I	II	III	IV
生産	186.9	91.2	100.0	70.7	84.4	96.0	60.5	76.9	102.6
前期(年)比	▲13.2	▲51.2	9.6	▲29.3	19.4	48.4	▲37.0	27.1	33.4
前年同期比	-	-	-	-	-	14.8	▲18.6	19.0	60.4
出荷	187.1	87.0	100.0	98.3	101.1	116.7	72.4	96.9	113.9
前期(年)比	▲14.2	▲53.5	14.9	▲1.7	2.8	17.6	▲38.0	33.8	17.5
前年同期比	-	-	-	-	-	15.5	▲31.7	5.0	17.0
在庫	240.0	110.6	81.6	155.0	139.9	138.9	138.1	152.0	145.3
前期(年)比	▲1.4	▲53.9	▲26.2	90.0	▲9.7	▲14.0	▲0.6	10.1	▲4.4
前年同期比	-	-	-	-	-	30.7	2.1	4.6	▲9.7

電子部品・デバイス工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100



(5) 輸送機械工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト3112.3 生産19業種中1位）  
24年の生産は126.7で、前年比15.5%増と3年連続の上昇となった。  
これは、鋼船、鋼船修理は低下したが、  
四輪自動車、駆動伝導及び操縦装置部品などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト2946.4 出荷19業種中1位）  
24年の出荷は127.9で、同16.1%増と3年連続の上昇となった。  
これは、鋼船、鋼船修理は低下したが、  
四輪自動車、駆動伝導及び操縦装置部品などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト440.5 在庫19業種中8位）  
24年の在庫は427.1で、同0.6%増と3年連続の上昇となった。  
これは、乗車用エアコンは低下したが、  
四輪自動車が上昇したことによる。

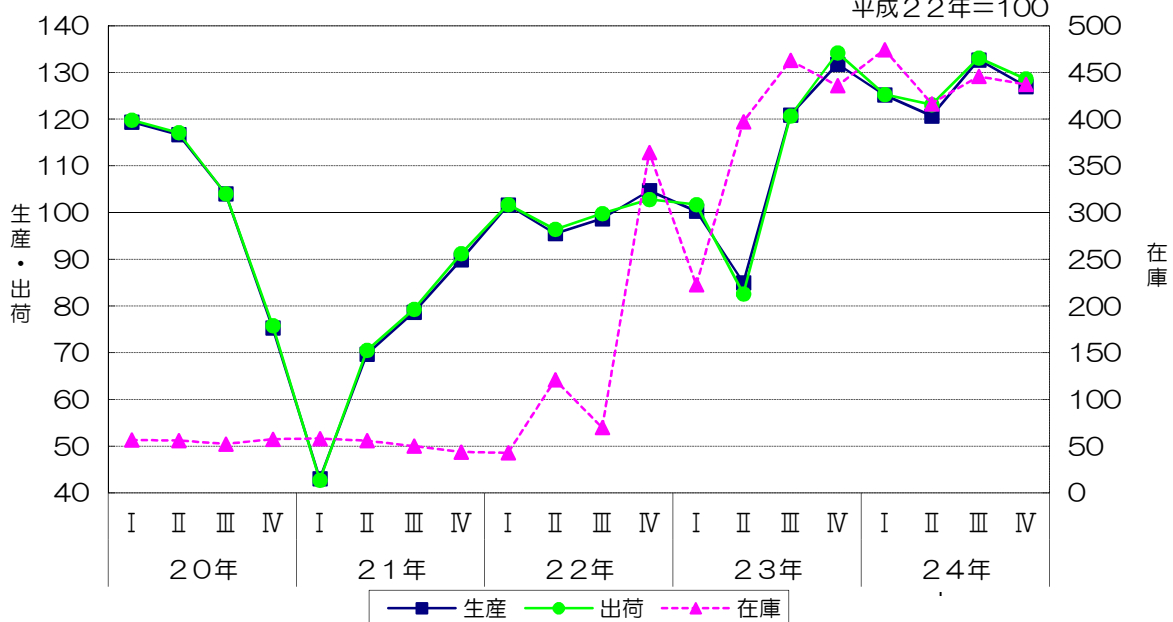
輸送機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	20年	21年	22年	23年	24年	季節調整済指数			
						I	II	III	IV
生産	104.3	70.8	100.0	109.7	126.7	125.2	120.7	132.7	127.0
前期(年)比	1.0	▲32.1	41.2	9.7	15.5	▲5.0	▲3.6	9.9	▲4.3
前年同期比	-	-	-	-	-	30.3	38.6	8.8	▲3.1
出荷	104.6	71.2	100.0	110.2	127.9	125.3	123.1	133.1	128.6
前期(年)比	1.2	▲31.9	40.4	10.2	16.1	▲6.6	▲1.8	8.1	▲3.4
前年同期比	-	-	-	-	-	28.0	44.9	9.5	▲3.3
在庫	52.4	41.1	351.2	424.5	427.1	474.5	416.5	445.9	437.2
前期(年)比	▲15.9	▲21.6	754.5	20.9	0.6	8.9	▲12.2	7.1	▲2.0
前年同期比	-	-	-	-	-	110.8	5.6	▲3.2	0.6

輸送機械工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100



(6) 窯業・土石製品工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト381.9 生産19業種中7位）  
24年の生産は104.0で、前年比2.3%減と3年ぶりの低下となった。  
これは、ほうろう鉄器、セメントなどは上昇したが、  
耐火れんが、ファインセラミックスなどが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト427.9 出荷19業種中7位）  
24年の出荷は105.3で、同0.7%増と3年連続の上昇となった。  
これは、耐火れんが、ファインセラミックスなどは低下したが、  
セメント、生コンクリートなどが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト807.9 在庫19業種中5位）  
24年の在庫は103.2で、同4.4%減と2年ぶりの低下となった。  
これは、遠心力鉄筋コンクリート製品、セメントなどは上昇したが、  
耐火れんが、ガラス製容器類などが低下したことによる。

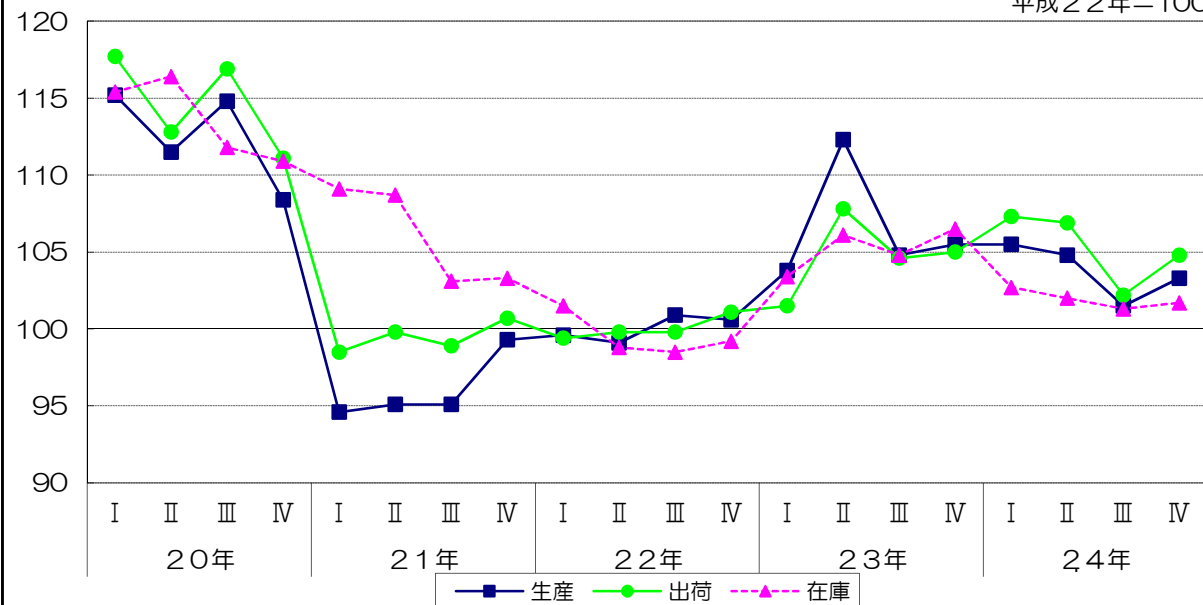
窯業・土石製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	20年	21年	22年	23年	24年	季節調整済指数			
						I	II	III	IV
生産	112.6	95.9	100.0	106.5	104.0	105.5	104.8	101.5	103.3
前期（年）比	▲5.4	▲14.8	4.3	6.5	▲2.3	0.0	▲0.7	▲3.1	1.8
前年同期比	-	-	-	-	-	1.9	▲6.2	▲3.5	▲1.2
出荷	114.7	99.4	100.0	104.6	105.3	107.3	106.9	102.2	104.8
前期（年）比	▲4.4	▲13.3	0.6	4.6	0.7	2.2	▲0.4	▲4.4	2.5
前年同期比	-	-	-	-	-	5.8	▲0.6	▲3.0	0.9
在庫	112.4	104.7	100.5	108.0	103.2	102.7	102.0	101.3	101.7
前期（年）比	▲5.4	▲6.9	▲4.0	7.5	▲4.4	▲3.6	▲0.7	▲0.7	0.4
前年同期比	-	-	-	-	-	▲0.8	▲4.0	▲3.4	▲4.4

窯業・土石製品工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100



(7) 化学工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト631.9 生産19業種中5位）  
24年の生産は96.2で、前年比4.1%増と2年ぶりの上昇となった。  
これは、触媒、ビスフェノールAなどは低下したが、  
医薬品、ポリカーボネートなどが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト535.1 出荷19業種中5位）  
24年の出荷は100.8で、同4.7%増と2年ぶりの上昇となった。  
これは、ビスフェノールA、触媒などは低下したが、  
医薬品、ポリカーボネートなどが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1337.6 在庫19業種中3位）  
24年の在庫は109.4で、同12.0%減と3年ぶりの低下となった。  
これは、複合肥料、ポリカーボネートなどは上昇したが、  
触媒、ジフェニルメタンイソシアネートなどが低下したことによる。

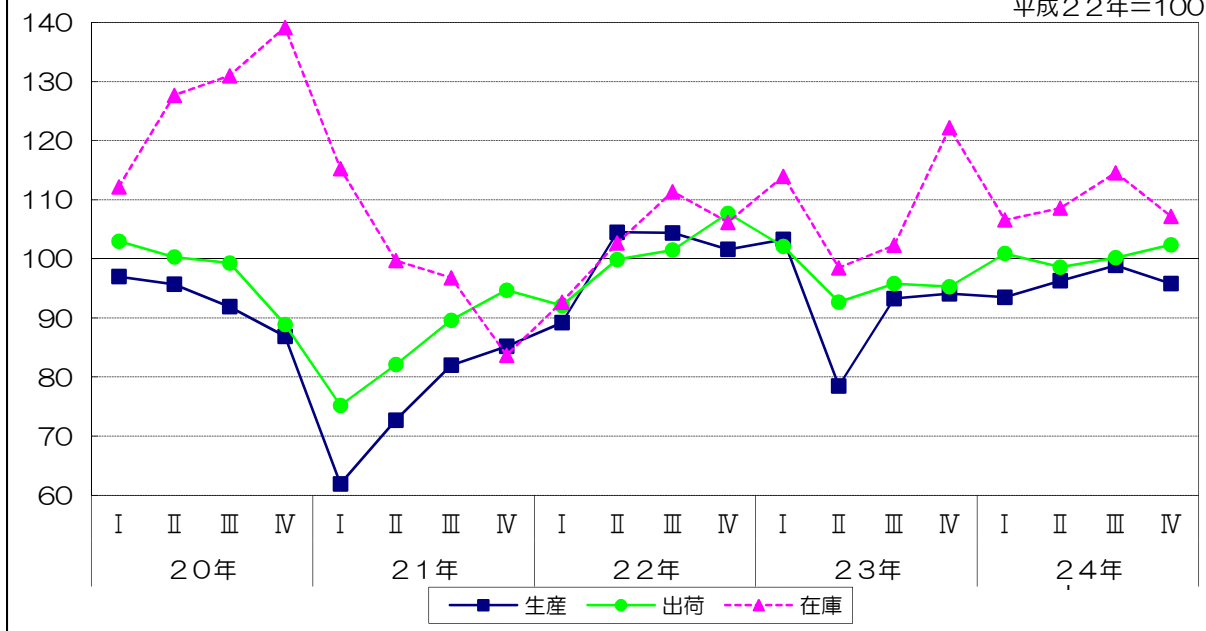
化学工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	20年	21年	22年	23年	24年	24年			
						I	II	III	IV
生産	92.9	75.4	100.0	92.4	96.2	93.5	96.3	98.9	95.8
前期(年)比	9.2	▲18.8	32.6	▲7.6	4.1	▲0.6	3.0	2.7	▲3.1
前年同期比	-	-	-	-	-	▲8.5	21.0	6.5	1.6
出荷	98.1	85.2	100.0	96.3	100.8	100.9	98.6	100.2	102.4
前期(年)比	1.2	▲13.1	17.4	▲3.7	4.7	5.9	▲2.3	1.6	2.2
前年同期比	-	-	-	-	-	0.9	6.1	4.4	7.6
在庫	139.0	84.1	107.4	124.3	109.4	106.6	108.6	114.6	107.2
前期(年)比	55.8	▲39.5	27.7	15.7	▲12.0	▲12.8	1.9	5.5	▲6.5
前年同期比	-	-	-	-	-	▲6.5	9.3	12.4	▲12.0

化学工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100



(8) 食料品・たばこ工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト1723.2 生産19業種中2位）  
24年の生産は101.2で、前年比3.0%増と3年ぶりの上昇となった。  
これは、固形カレー、パンなどは低下したが、  
枝肉、ビールなどが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト1856.0 出荷19業種中2位）  
24年の出荷は105.4で、同8.7%増と3年ぶりの上昇となった。  
これは、固形カレー、パンなどは低下したが、  
枝肉、ハム・ソーセージなどが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1586.4 在庫19業種中2位）  
24年の在庫は75.6で、同1.3%増と5年ぶりの上昇となった。  
これは、焼酎、その他の調味料などは低下したが、  
ビール、植物油脂などが上昇したことによる。

食料品・たばこ工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	20年	21年	22年	23年	24年	24年			
						I	II	III	IV
生産	100.2	100.6	100.0	98.3	101.2	103.5	100.8	98.1	101.8
前期(年)比	▲0.5	0.4	▲0.6	▲1.7	3.0	3.2	▲2.6	▲2.7	3.8
前年同期比	-	-	-	-	-	104	▲0.5	0.9	2.5
出荷	99.2	100.3	100.0	97.0	105.4	105.7	107.0	101.8	106.0
前期(年)比	0.0	1.1	▲0.3	▲3.0	8.7	2.1	1.2	▲4.9	4.1
前年同期比	-	-	-	-	-	17.8	9.4	6.0	3.3
在庫	103.5	93.3	90.5	74.6	75.6	85.6	86.1	79.9	82.3
前期(年)比	0.0	▲9.9	▲3.0	▲17.6	1.3	5.8	0.6	▲7.2	3.0
前年同期比	-	-	-	-	-	▲8.8	▲2.1	▲6.3	1.3

食料品・たばこ工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100

